

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 脳卒中の急性期診療提供体制の変革に係る実態把握及び有効性等の検証のための研究』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 脳神経外科 職位・氏名 教授・岩淵 聡

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科では、脳卒中の患者さんを対象に、通常の診療で得られたデータを収集・解析することにより、日本脳卒中学会による脳卒中センター認定事業の評価、および新型コロナウイルス感染症による環境の変化に伴う急性期脳卒中の診療体制、施設間連携体制の変革を調査し、より良い治療法を確立することを目的として本研究を計画しました。この研究で得られる成果は、将来の脳卒中診療の向上につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者：2019年1月～2021年12月までに東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科において、脳卒中急性期の治療を受けられた方。当院より年間30例程度、研究全体では約15,000例を予定。

方法：診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

情報：年齢、性別、病名、重症度、治療(薬物、手術など)の内容、臨床検査値、CT等の画像所見、治療経過等

【外部への試料・情報の提供】

本研究は神戸市立医療センター中央市民病院を代表施設とした、多施設共同研究です。患者さんの診療録(カルテ)から抽出された臨床データは患者さんを直接特定できる情報(お名前やカルテ番号等)を削除し、匿名化された後に、神戸市立医療センター中央市民病院へ送られ統計・解析されます。

【研究組織】

代表施設名：神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経外科

研究代表医師：坂井信幸 役職：副院長

本研究は、急性期脳卒中治療を行っている全国の主要施設(約900施設)が協力して実施する研究です。

<分担研究者>

岩間 亨(岐阜大学)

宇野 昌明(川崎医科大学)

小笠原 邦昭(岩手医科大学)

岡田 靖(国立病院機構九州医療センター)

木村 和美(日本医科大学)
黒田 敏(富山大学)
後藤 励(慶応大学)
塩川 芳昭(杏林大学)
高木 康志(徳島大学)
冨永 悌二(東北大学)
豊田 一則(国立循環器病研究センター)
橋本 洋一郎(熊本市市民病院)
松丸 祐司(筑波大学)
宮本 享(京都大学)
吉村 紳一(兵庫医科大学)

<研究協力者>

今村 博敏(神戸市立医療センター中央市民病院)
尾原 信行(神戸市立医療センター中央市民病院)
藤堂 謙一(大阪大学)
早川 幹人(筑波大学)
平野 照之(杏林大学)
山上 宏(大阪医療センター)

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 脳神経外科
職位・氏名： 教授・岩渕 聡
電話： 03-3468-1251 内線： 7603